

# 私も応援します



## 伊達博物館建設中止を求める会代表世話人

奥田喜久美

こんにちは。私は、宇和島市に住んでいます。大池さんとは「南予で演劇を観る会」で一緒にさせていただいています。松山市民劇場のように、ゆくゆくは会員制の南予市民劇場を創りたいと日々奮闘しているところです。

宇和島市は人口9万人弱、海山に囲まれた自然豊かなところです。江戸時代に仙台藩の伊達政宗の長男、秀宗（側室猫姫の子）が宇和島藩の城主として入城し、伊達家が統治を開始したと言われています。



現在この町で問題になっているのは、50年前に市が建設した伊達博物館が老朽化し、耐震性に欠けるので、公園を縮小し、新しく建設する計画が進められていることです。

保管品（お宝と言われるもの）、建設費、維持管理費、職員給与等、入場料のみ市と折半。個人のものに対し、市が建設管理費用を出し続けるのはおかしい。公園を残せ！

この計画は市民には殆んど知らされておらず、2019年にひとりの市民から伊達博物館建設反対運動が始まりました。「建設中止を求める会」はこの5年間で、議会、教育委員会へ陳情書住民監査請求を4回、住民投票条例を2回提出しましたが全て不採択、却下されました。その度ごとに市役所前でのスタンディング、記者クラブでの説明会を実施し、テレビ、新聞にも取り上げていただきました。本会議や委員会を傍聴し、1万2000件もの建設中止のメール便を伊達博物館に送付しました。

今年に入って、県民にも広く訴えるべく、松山市大街道で建設反対署名活動を実施、県知事宛ての陳情書も提出しました。伊達博物館建設工費は、総工費48億5000万円から53億7900万円に膨れ上がり、入札は2回とも応募者なしで不調に終わっています。市長はそれでも着々と進めていくとの返事ばかり。人口減少、経済困難が立ちはだかつている中、することはほかにある！何度却下されようと声を発することを止めません。

JAL争議団は、闘いを13年半も続けていらつしやるとお聞きしています。私たちの運動はまだまだ初歩ですが、大きな壁を崩す方向に向かっていくことは同じだと思います。お互い頑張りましょう！！

### 私たちは決して権力に屈しない

JAL不当解雇撤回争議団(JHU)  
西予市在住 大池ひとみ

皆さま、長きにわたり、いつも変わらぬご支援を本当にありがとうございます。

2024年もはや半分を過ぎ、またあつというまに1年過ぎていつてしまうのか、と焦りを感じる時もあります。

(裏面に続く)

## ニュース

### JAL愛媛争議団を支える会



勝利解決の日まで  
たたかう

発行：JAL 不当解雇とたたかう愛媛争議団を支える会  
連絡先：愛媛自治労連会館3F愛媛労連内  
松山市三番町8-10-2

はいいや、それでは会社の思うつぽ、我々が諦めるのを待って、のらりくらりするのにはJALの常套手段。気持ちを強くもたなければ、と心を奮い立たせています。



2024.6.17

最高裁ヒューマンチェーンでの争議団

でも、それなりに2人ともいろいろな活動に大忙しです。争議団の取り組みではないけれど、地元根差したさまざまな問題に関わり、毎回新しい人との会い、名刺交換をし、情報を得、アイデアをいただき、勉強させて頂いています。とにかく、どんなところへでも顔を出し、名前を覚えてもらい、顔を覚えてもらい、どこかでまたお会いする機会があれば、さらに会話を続け、人間としての成長を感じられる日々。とにかく忙しい。でも、楽しい。全ては繋がっているのだ、とつくづく感じます。これらの活動は決して無駄ではないと信じています。

### 市民の頑張りに期待を

5回目となる四国キャラバンも無事に終わり、お隣の宇和島市では伊達博物館建設問題で揺れています。我が西予市では市民病院の民営化問題が山場を迎えようとしています。地方の悩みはどこも同じ。高齢化、少子化、過疎化、第一次産業の衰退、低賃金、長時間労働、劣悪な労働環境。病院問題も、たぶんどんども似たり寄ったりであるかと察します。

昨年2月に、いきなり降って沸いたような市民病院の民営化問題は、秘密裡のうちに進められ、市民の猛反発をくらいました。と言っても、無関心な人も多いんです。これは西予市だけの問題ではなく、ここで民営化を押し切られてしまえば、ほかの自治体にもその影響が及ぶのは必至です。それに危惧を抱いている方々は松山から、遠くは香川から応援に駆けつけて下さり、署名を集めたり、アンケートを取ったり、ビラを配ったり、住民と話をしたり、いろいろお手伝いをして下さいました。

そして迎えた本会議、傍聴席は満席。採決の結果は賛成8、反対9で否決されたのでした。市長は「本当に残念で遺憾である」と声を荒げて怒りを露わにし、議会が終わるや否や、臨時議会が招集されるらしいという情報が回って来ました。どういう事かと言うと、反対派の中で、強く出れば賛成派に回る可能性があるような軟弱な人を自分たちの方に引き込んで、もう一度採決をやり直す、という卑劣なやり方を行政側は考えていたのです。弱い者を力でねじ伏せようとする一番姑息な方法です。

先日、大阪から講師を迎えて勉強会が開かれ、民営化をすれうふうに市の財産をむしり取られていくと具体的に他の自治体の例を出し、だから、民営化ではなく、こういうやり方をしたい。あとは自分たちでどこまで頑張っていけるかが鍵になる、と励ましていただきました。未来への希望が見えた有意義な勉強会でした。

質疑応答の中で、Y議員がすでに賛成派に回ったことが判明しました。「嫌われてもいい。5年10年先を考えた時、民営化の方がいいと思って賛成することにした」と、Y議員の地元の支援者が発言されました。どれだけの圧力がかかったのでしょうか。最終的に臨時議会を開くかどうかは、議長の判断に委ねられるそうです。さあ、どうなるでしょう。このニュースが印刷されるころには、結果が出ています。

民営化されてもされなくても、病院の経営が今のままではいずれ崩壊するのは目に見えています。西予市民の今後の頑張りに期待して頂きたい！私たちが決して権力に屈しない。

# 今年も頑張った 四国キャラバン



6.21 愛媛集会



6.18 香川集会



6.20 高知宣伝



6.19 徳島宣伝